

講師と間近で話ができる環境技術セミナー

# 環境DNA研究の 最前線

日 時：平成 29 年 11 月 18 日(土) 14:30 ~ 16:30

場 所：大阪教育大学天王寺キャンパス 西館第3講義室  
(大阪市天王寺区南河堀町 4-88)

アクセス：<https://osaka-kyoiku.ac.jp/innovate/access.html>

主 催：大阪教育大学教育協働学会理数情報講座  
環境技術学会

参加費：1,000 円(正会員・賛助会員・団体会員), 2,000 円(非学会員), 学生は無料

## 内 容

### 1. 環境 DNA メタバーコーディング技術による生態系観測

演者：近藤倫生 (龍谷大学理工学部教授)

環境中に存在する様々な生物の DNA をまとめて分析することで、多種をターゲットとした生物調査を一度に行うことが可能である。この環境 DNA メタバーコーディングと呼ばれる新技術を利用すれば、生態系調査はこれまでよりもずっと低コストで効率的になるだろう。これは同時に、これまでは困難だった大規模で連続的な生態系観測の実現が視野に入ったことを意味している。いくつかの関連する実証研究事例を紹介するとともに、環境 DNA による生態系観測を社会実装することで、将来構築される「高度生態情報社会」の有り様を議論したい。

### 2. 環境 DNA 分析を用いた希少生物種の分布推定

演者：源 利文(神戸大学大学院人間発達環境学研究科人間環境学専攻 准教授)

環境中の DNA 情報を用いてマクロ生物の分布調査等を行う環境 DNA 分析手法が急速に発展している。本手法は、希少種分布域の探索、外来種の侵入範囲の特定、水産有用種の資源量推定などへの応用が期待されている。本講演では、主として希少種の探索への応用に焦点を当て、特別天然記念物のオオサンショウウオの分布予測、絶滅危惧 IA 類に分類されているゼニタナゴの繁殖地特定などに用いられた例を中心に紹介するとともに、環境 DNA 分析の課題と展望について議論の材料となる情報を提供したい。

セミナー終了後、講師の方を交えて交流会(実費)を予定しております。

参加申込は学会ホームページからお願いいたします。ご無理の場合は、「氏名、所属、会員・非会員の別、メールアドレス」を事務局までお知らせください。

環境技術学会 事務局：(E-mail) [kankyo-g@jriet.net](mailto:kankyo-g@jriet.net) (電話) 080-8511-5424

<http://www.jriet.net/>